

## 「第3回ABINC賞 特別賞」を受賞 ～生物多様性保全の活動が評価～

愛知製鋼株式会社(代表取締役社長:後藤尚英)は、かねてより自然共生・生物多様性保全活動を進めている社有地の中新田緑地(愛知県東海市)について、工場やオフィスビルなどにおける生物多様性保全活動の特に優れた事例として「第3回ABINC<sup>※</sup>賞 特別賞」を受賞しました。

当社は、2012年より知多半島生態系ネットワーク協議会事業「命をつなぐPROJECT」に参画し、中新田緑地にて「カブトムシのすむ森づくり」事業を通じた生物多様性保全への取り組みを進めています。

専門家の指導の下に緑地管理が行われている点や、社員や学生など多様な主体が参加するモニタリング、緑地整備計画を実施している点などが高く評価され、今回の受賞に至りました。

今後も、持続可能な地球環境の実現に貢献するため、積極的に生物多様性の向上や森林育成などを推進し、社員や地域の方々と共に社会・地球の持続的発展に貢献していきます。

※ (一社)いきもの共生事業推進協議会。「自然と共生する世界」を実現するための企業活動の支援、いきもの人と人が共生できる仕組みの「創造」、科学的・技術的な「検証」、「事業化」の推進や、それらの「広報・普及」を目的として2013年に設立



中新田緑地に飛来したアオサギやカルガモのつがい

